



からくさ



【教育目標】 自律 探究 協働

- ◆ 自ら考え、判断し、行動する
- ◆ 真理を求めて深く学び続ける
- ◆ 目的意識を持ち多様な人々と協力する

【重点目標】 自己を振り返り、学びをつなぐ生徒

生活の決まりの見直し

10月14日に後期生徒会総会を放送を通じて行いました。議題の一つに挙げられたのが、「生活の決まりの見直し（防寒のための女子生徒のタイツ着用を認めるべきか否か）」です。提案した生徒が肯定側、生徒会の執行委員が否定側に立ってディベートを行いました。

防寒のために
タイツの着用を
認めてほしい。

服装がバラバラ
になり、規律が
乱れる。

ルールを決め、生
活委員がチェック
すればいい。

ウインドブレー
カーで十分寒さ
は防げる。

この討論の後、生徒会執行委員会が全校生徒に意向調査を実施しました。その結果、タイツの着用を認めるべきという意見が過半数を占めたので、執行委員会が「生活の決まり」の見直し案を作成し、教員（生徒指導部）との間で話し合いをしました。結果は次のとおりです。

- ① 12月～3月の期間、女子生徒はタイツを着用してもよい。
- ② 色は黒とし、肌が透けないものとする。（目安は80デニール以上）
- ③ タイツの上に靴下を着用する場合は、黒色のものとする。
- ④ 体育の授業等では、必要に応じて靴下に履き替える。（色は黒でも白でも可）
- ⑤ 次の場合はタイツを着用しない。
 - ハーフパンツで活動するとき。
 - 入学式、卒業式、高校入試。
 - その他、学校から指示がある場合。

この内容が昼の放送で発表されると、女子生徒の耳はダンボ！ 給食が終わるやいなや、執行委員は女子に囲まれ質問攻めに。「タイツ、はいてもいいの？」「黒い靴下も？」「80デニールって何？」 女子にとっては革命的な出来事だったようです。

制度やルールは自分たちの手でつくるものです。それを守ったり、改善したりするのも自分たちです。生活の決まり（校則）の見直しを通して、**合意形成のプロセス**を学び、生徒一人一人の**自治意識**が高まることを期待しています。



福島県造形作品秀作審査会で 15 人が特選！

福島県造形作品秀作審査会において、本校から 15 人が特選に選ばれました（相双域内では最多）。素晴らしいことです。おめでとうございます！

絵や彫刻<平面>	菅野瑠璃	「開花」	（敬称略）
〃	佐藤颯真	「魚たちの夢」	
〃	松川梨花	「神様の日常」	
〃	舟田理歩	「フローライト」	
〃	大杉二葉	「生命の水」	
〃	天野勇翔	「M1012」	
〃	岡部日可里	「人生」	
デザインや工芸<平面>	日野岡早紀	「オレンジのお花畑」	
〃	安部美都	「いちごのパラダイス」	
デザインや工芸<立体>	宮田直春	「手鏡」	
〃	田原賢太	「手鏡」	
〃	木幡小絵	「手鏡」	
〃	益山佳菜	「かくれた僕」	
〃	藁谷成基	「全てを司る目」	
〃	小澤遼大	「未知」	

梅田杯相双サッカー選手権大会で準優勝！

11月28日～12月12日にかけて、第42回梅田杯相双地区中学生サッカー選手権大会が行われました。決勝トーナメントでは、まず、フィエンテ（新地のクラブチーム）に勝利。準決勝は中村一中と3-3。PK戦を制し、決勝へ。決勝の相手は向陽中。惜しくも3-1で敗れはしましたが、力が拮抗する素晴らしい試合でした。おめでとうございます！

第48回福島県アンサンブルコンテスト 相双支部大会で金賞！

12月13日（日）に、第48回福島県アンサンブルコンテスト相双支部大会が無観客で行われました。本校からは2チームが出場し、金賞と銀賞を受賞しました。金賞を受賞した管打八重奏（曲目「沢地萃」）のメンバーは、1月にアリオス（いわき）で行われる県大会に出場します。おめでとうございます！

- <2年> 小野いちか（敬称略）、室原梓沙、若槻華那、加藤一花、木幡美紅、益山佳菜、村上晴菜
<1年> 日野岡早紀



1年生 デザイン画



2年生 ワイヤーアート



3年生 抽象画

本校では新型コロナウイルス感染症防止のために常時換気を行っています。室温の低下により健康被害が生じないように、保温性の高い肌着やズボン下、セーター・カーデイガン・ベスト（原則として、色は黒・紺・グレー）など、暖かい服装を心がけるようお願いします。